

タケシール

下地別施工例

タケシール防水材シリーズ

タケシール 1液NEOプラス

1液湿気硬化型ウレタン防水材

タケトップ

水性1液型骨材入り厚膜簡易防水材

タケシールAQ防水Type S

水性1液型アクリルゴム系塗膜防水材

タケシールP C e c o

ポリマーセメント系塗膜防水材

既存下地	防水工法	下地にクラック が無い場合	下地にクラック がある場合
モルタル・ コンクリート下地	簡易防水	p. 2 参照	
	水性防水	p. 3 参照	p. 4 参照
	ポリマーセメント防水	p. 5 参照	p. 6 参照
	ウレタン防水	p. 7 参照	p. 8 参照
ウレタン防水下地	簡易防水	p. 10 参照	
	水性防水	p. 11 参照	p. 12 参照
	ポリマーセメント防水	p. 13 参照	p. 14 参照
	ウレタン防水	p. 15 参照	p. 16 参照
水性防水下地	簡易防水	p. 18 参照	
	水性防水	p. 19 参照	p. 20 参照
	ポリマーセメント防水	p. 21 参照	p. 22 参照
	ウレタン防水	p. 23 参照	p. 24 参照
FRP防水下地	簡易防水	p. 26 参照	
	水性防水	p. 27 参照	
	ポリマーセメント防水	p. 28 参照	
	ウレタン防水	p. 29 参照	
加硫ゴムシート下地	簡易防水・保護美装	p. 31 参照	
	水性防水	p. 32 参照	
	ポリマーセメント防水	p. 33 参照	
	ウレタン防水	p. 34 参照	
塩ビシート下地	簡易防水・保護美装	p. 36 参照	
	ウレタン防水	p. 37 参照	
アスファルト シート下地	簡易防水・保護美装	p. 39 参照	
	ウレタン防水	p. 40 参照	
浴室・トイレ・厨房床 の防水	高性能水性防水	p. 41 参照	

★モルタル・コンクリート下地の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
- ・油脂成分の付着がある場合は、シンナー又は洗剤を使用して取り除きます。
- ・モルタル表面が劣化し脆弱な状態の場合は、脆弱な表層部分を取り除き下地調整材にて補修を行います。
- ・既存下地に凹凸がある場合は、下地調整材にて平滑に補修を行います。
- ・既存下地の劣化が激しく石粒が突起した状態の場合、一度下地調整材にて表面補修を行ってもピンホール穴や細かい割れが発生する場合があります。そのような状態となった場合は、再度下地調整材を刷り込むように塗布してください。
- ・勾配が確保できていない場合は、厚付け用の下地調整材にて補修を行ってください。
- ・植物が生息している場合は、根部分まで十分に取り除きください。
- ・既存下地に欠損等がある場合は、樹脂モルタル等にて事前に適切な補修を行ってください。
- ・下地洗浄後の乾燥養生は十分に行ってください。不十分な場合、施工後、膨れや割れの原因となります。
- ・既存下地にクラックがある場合は、サンダーにてUカット後、ウレタンコーキング材を充填し平滑に仕上げてください。（ノンブリードタイプを使用します。）
- ・既存下地に目地が設けてある場合は、既存目地材を撤去し、新たにバックアップ材を取り付け、上部の凹みはウレタンコーキング材にて平滑に補修を行ってください。
- ・新設のコンクリート下地の場合、初期硬化時にエフロが表面に発生します。十分に硬化したことを確認の上、エフロ（表面に付着する白い粉）を除去してください。除去後の表面状態によっては、下地調整材にて表面補修を行う場合があります。

簡易防水

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料) **防滑仕上げ・軽歩行可**
 色 グレイ・グリーン
 荷姿 20kg缶・5kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・共有通路など

●簡易防水施工例。

工法名	下地処理 及び補修	下塗り	下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法		タケシールAQ モルタルプライマー	タケシールAQ モルタルプライマー	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.2kg/m ²	0.2kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²
塗装間隔		1～2時間以上	2時間以上	2～3時間以上	3時間以上

下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

◆タケシールAE211プライマー (水性2液型エポキシ樹脂)

塗布量 0.3kg/m² (0.15kg/m²を2回塗布)
 塗装間隔 1回目塗布後 3～4時間以上、4日以内
 2回目塗布後 4時間以上、4日以内に次の工程へ

◆タケシールNo400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)

塗布量 0.5kg/m² (0.25kg/m²を2回塗布) 改修下地として
 塗装間隔 1回目塗布後 3～4時間以上 12時間以内に次の工程へ
 2回目塗布後 4時間以上、12時間以内に次の工程へ

希釈について

タケシールAQモルタルプライマー 無希釈
 タケトップ 水道水にて2%以内 (重量%)

塗布可能面積

タケシールAQモルタルプライマー	1kg缶	2.5m ²
	4kg缶	10m ²
	15kg缶	37.5m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。既存下地の状況と施工後の利用目的等により施工法が変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

オール1液防水工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名		下塗り	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-10工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ モルタルプライマー	タケシールAQ モルタルプライマー	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
塗布量		0.2kg/m ²	0.2kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.1~0.12kg/m ²
塗装間隔		1~2時間以上	2時間以上	3~4時間以上	4時間以上	4時間以上

○下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

◆タケシールAE211プライマー (水性2液型エポキシ樹脂)

塗布量 0.3kg/m² (0.15kg/m²を2回塗布)
 塗装間隔 1回目塗布後 3~4時間以上、4日以内
 2回目塗布後 4時間以上、4日以内に次の工程へ

◆タケシールNo400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)

塗布量 0.5kg/m² (0.25kg/m²を2回塗布) 改修下地として。
 塗装間隔 1回目塗布後 3~4時間以上 12時間以内に次の工程へ
 2回目塗布後 4時間以上、12時間以内に次の工程へ

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.12~0.15kg/m²
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQモルタルプライマー 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)以内
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAQモルタルプライマー	1kg缶	2.5m ²
	4kg缶	10m ²
	15kg缶	37.5m ²
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	2.5m ²
	16kg缶	10m ²
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8m ²
	3kg缶	25~30m ²
	8kg缶	66~80m ²
	16kg缶	133~160m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材料)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-20工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ モルタルプライマー	タケシールAQ モルタルプライマー	タケシールAQ防水 TypeS 補強クロス	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
塗布量		0.2kg/m ²	0.2kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.1~0.12kg/m ²
塗装間隔		1~2時間以上	2時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上	4時間以上

○下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

- ◆タケシールAE211プライマー (水性2液型エポキシ樹脂)
 塗布量 0.3kg/m² (0.15kg/m²を2回塗布)
 塗装間隔 1回目塗布後 3~4時間以上、4日以内
 2回目塗布後 4時間以上、4日以内に次の工程へ
- ◆タケシールNo400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)
 塗布量 0.5kg/m² (0.25kg/m²を2回塗布) 改修下地として。
 塗装間隔 1回目塗布後 3~4時間以上 12時間以内に次の工程へ
 2回目塗布後 4時間以上、12時間以内に次の工程へ

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
 塗布量 0.12~0.15kg/m²
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQモルタルプライマー 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAQモルタルプライマー	1kg缶	2.5m ²
	4kg缶	10m ²
	15kg缶	37.5m ²
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	1.6m ²
	16kg缶	6.6m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	45m ²
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8m ²
	3kg缶	25~30m ²
	8kg缶	66~80m ²
	16kg缶	133~160m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合の施工法となります。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cm重ねます。
- ・下地の状況に応じて補強クロスを目地、クラックのみに張り付けることもできます。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)
 荷姿 30kgセット・15kgセット
 施工部位： ベランダ・庇・パラペット・解放廊下・急勾配屋根など

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	下地処理 及び補修	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り	
CR-1T工法		タケシールPceco 共プライマー	タケシールPceco	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.2kg/m ²	0.9kg/m ²	0.85kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	
塗装間隔		1～3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上	

○下塗り材につきましては、以下の商品も使用できます。

◆タケシールP C e c oプライマー (水性1液アクリル樹脂)

塗布量 0.2kg/m²
 塗装間隔 2～3時間以上 (気温20℃)

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ

軽歩行可

塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)
 塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上
 2回目塗布後 4時間以上

配合について (施工面積に応じて行ってください。)

	タケシールP C e c o主剤	タケシールP C e c o混和材	水
共プライマー	9kg	6kg	8kg
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールP C e c o (共プライマー分を含む)	15kgセット	8.4m ²
	30kgセット	16.9m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・下塗り・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：コンクリート・モルタル

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)

荷姿 30kgセット・15kgセット

施工部位： ベランダ・庇・パラペット・解放廊下・中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り
CR-3T	下地処理 及び補修	タケシールPceco 共プライマー	タケシールPceco 補強クロス	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.2kg/m ²	1.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.05kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
塗装間隔		1～3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上

○下塗り材につきましては、以下の商品も使用できます。

◆タケシールP C e c o プライマー (水性1液アクリル樹脂)

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 2～3時間以上 (気温20℃)

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ

軽歩行可

塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)

塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上

2回目塗布後 4時間以上

配合について (施工面積に応じて行いください。)

	タケシールP C e c o 主剤	タケシールP C e c o 混和材	水
共プライマー	9kg	6kg	8kg
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールP C e c o (共プライマー分を含む)	15kgセット	4.7m ²
	30kgセット	9.4m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	4.5m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行いください。
- ・上記施工法は、目地、クラック等がある場合の施工法となります。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cmとなります。
- ・下塗り・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名		下塗り	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
C1-N A工法	下地処理 及び補修	タケシール	タケシール	タケシール	タケシール	タケシール
		AE-211プライマー	AE-211プライマー	1液NEOプラス	1液NEOプラス	SSトップ
塗布量		0.15kg/m ²	0.15kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		3時間以上	4時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

◆タケシールNo.400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)

塗布量 0.5kg/m² (0.25kg/m²を2回塗布) 改修下地として。
 塗装間隔 1回目塗布後 3～4時間以上 12時間以内に次の工程へ
 2回目塗布後 4時間以上、12時間以内に次の工程へ

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²
 塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAE-211プライマー 無希釈
 タケシール1液NEOプラス タケシールECOシンナー (或いはタケシールNo.100シンナー) にて3%以内 (重量%)
 タケシールSSトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAE-211プライマー	2kg缶	6.6m ²
	8kg缶	26.6m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kg缶	2.2m ²
	11kg缶	7.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材料)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・屋上・ルーフバルコニーなど

環境対応工法

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り
C4-NA工法	下地処理 及び補修	タケシール AE-2117プライマー	タケシール AE-2117プライマー	タケシール 1液NEOプラス 補強クロス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
		0.15kg/m ²	0.15kg/m ²	0.8kg/m ²	1.6kg/m ²	1.5kg/m ²	0.15kg/m ²
		3時間以上	4時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

- ◆タケシールNo.400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)
 - 塗布量 0.5kg/m² (0.25kg/m²を2回塗布) 改修下地として。
 - 塗装間隔 1回目塗布後 3～4時間以上 12時間以内に次の工程へ
 - 2回目塗布後 4時間以上、12時間以内に次の工程へ

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)
 - 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
 - 塗布量 0.2kg/m²
 - 塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAE-211プライマー 無希釈
 タケシール1液NEOプラス タケシールECOシンナー (或いはタケシール
 No.100シンナー) にて3%以内 (重量%)
 タケシールSSトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAE-211プライマー	2kgセット	6.6m ²
	8kgセット	26.6m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	2.5m ²
	18kg缶	4.6m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	4.5m ²
タケシールSSトップ	3.3kgセット	2.2m ²
	11kgセット	7.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★ウレタン防水材下地の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
 - ・油脂成分の付着がある場合は、シンナー又は洗剤を使用して取り除きます。
 - ・洗浄は十分に行い、汚れを十分に除去します。
 - ・植物が生息している場合は、根部分まで十分に取り除きください。
 - ・既存下地にクラックがある場合は、サンダーにてUカット後、ウレタンコーキング材を充填し平滑に仕上げてください。
 - ・既存下地に膨れ、めくれ、割れ等がある場合は、破損浮き箇所をカット除去した上で、内部の乾燥養生を十分に行い適切な方法にて事前に補修を行います。
- また、既存下地内部に水分が残留している可能性がある場合は、破損箇所上部に脱気装置を取り付ける場合があります。

◆既存防水材の確認方法

ウレタン防水の場合

- ①目視確認
- ②指触確認
- ③溶解確認

重ね目が無くシームレスな形状。

厚みと弾力性があります。

ラッカーシンナーを使用して溶解の有無を確認します。
ウレタン防水の場合は解けません。（注意：拭き始めは、劣化した塗膜粉が付着し、溶解したと勘違いすることがあります。同じ箇所を2～3回確認を行ってください。）
また、仕上げに水系塗料が塗布している場合もあります。

簡易防水

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料) **防滑仕上げ・軽歩行可**
 色 グレイ・グリーン
 荷姿 20kg缶・5kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・ルーフバルコニー・屋上など

●簡易防水施工例

工法名		下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ 層間プライマーA	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²
塗装間隔		1～2時間以上	2～3時間以上	3時間以上

下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

◆タケシールNo.400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)

塗布量 0.1kg/m² 改修下地として。
 塗装間隔 1回目塗布後 3～4時間以上 12時間以内に次の工程へ
 2回目塗布後 4時間以上、12時間以内に次の工程へ

希釈について

タケシールAQ層間プライマーA 無希釈
 タケトップ 水道水にて2%以内 (重量%)

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマーA	1kg缶	10m ²
	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。既存下地の状況と施工後の利用目的等により施工法が変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材料)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上・ルーフバルコニーなど

オール1液防水工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例。

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-10工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ 層間プライマー-A	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
		塗布量	0.1kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²
塗装間隔		1~2時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上

○下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

◆タケシールNo400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)
 塗布量 0.1kg/m² 改修下地として。
 塗装間隔 3~4時間以上 12時間以内に次の工程へ

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
 塗布量 0.12~0.15kg/m²
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQ層間プライマー-A 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3% (重量%) 以内
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマー-A	1kg缶	10m ²
	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	2.5m ²
	16kg缶	10m ²
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8m ²
	3kg缶	25~30m ²
	8kg缶	66~80m ²
	16kg缶	133~160m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に破損、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-20工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ 層間プライマーA	タケシールAQ防水 TypeS 補強クロス	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
塗布量		0.1kg/㎡	0.8kg/㎡	0.8kg/㎡	0.8kg/㎡	0.1~0.12kg/㎡
塗装間隔		1~2時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上

○下塗り材につきましては以下に記載する製品も使用することができます。

◆タケシールNo400プライマー (溶剤1液湿気硬化型ウレタン樹脂)

塗布量 0.1kg/㎡ 改修下地として
 塗装間隔 3~4時間以上 12時間以内に次の工程へ

○上塗り材につきましても以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSTopp (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.12~0.15kg/㎡
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQ層間プライマーA 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマーA	1kg缶	10㎡
	4kg缶	40㎡
	15kg缶	150㎡
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	1.6㎡
	16kg缶	6.6㎡
補強クロス 1m幅	50m巻	45㎡
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8㎡
	3kg缶	25~30㎡
	8kg缶	66~80㎡
	16kg缶	133~160㎡

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合の施工法となります。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cm重ねます。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o （水性ポリマーセメント系塗膜防水材）
 荷姿 30kgセット・15kgセット
 施工部位： ベランダ・庇・パラペット・小規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	下地処理 及び補修	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り
CR-1T工法		タケシールPceco プライマー	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.9kg/m ²	0.85kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
塗装間隔		3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケトップ遮熱（水性1液型アクリル樹脂） 標準色：グレイ 軽歩行可
 塗布量 1.0kg/m²（0.5kg/m²を2回塗布）
 塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上
 2回目塗布後 4時間以上

配合について

	タケシールP C e c o 主剤	タケシールP C e c o 混和材	水
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールP C e c o プライマー	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケシールP C e c o	15kgセット	9.1m ²
	30kgセット	18.2m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：ウレタン防水材

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)
 荷姿 30kgセット・15kgセット

施工部位： ベランダ・庇・パラペット・解放廊下・中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り
CR-3T	下地処理 及び補修	タケシールPceco プライマー	タケシールPceco 補強クロス	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.05kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
塗装間隔		3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ 軽歩行可
 - 塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)
 - 塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上
 - 2回目塗布後 4時間以上

配合について

	タケシールP C e c o 主剤	タケシールP C e c o 混和材	水
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールP C e c o プライマー	4kg缶	4.0m ²
	15kg缶	15.0m ²
タケシールP C e c o	15kgセット	4.9m ²
	30kgセット	9.8m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	4.5m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記施工法は、目地、クラック等がある場合の施工法となります。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cmとなります。
- ・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ウレタン防水

使用材料： タケシール 1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	下地処理 及び補修	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
C1-N A工法		タケシール No.400プライマー	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
塗布量		0.1kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		2時間以上 12時間以内	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールNo.400プライマー

タケシール1液NEOプラス

タケシールSSトップ

タケシールNo.100シンナーにて50%以内(重量%)

タケシールECOシンナー(或いはタケシールNo.100シンナー)にて3%以内(重量%)

無希釈

塗布可能面積

タケシールNo.400プライマー	1.5kg缶	15m ²
	3.5kg缶	35m ²
	7kg缶	70m ²
	15kg缶	150m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kgセット	22m ²
	11kgセット	73.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：ウレタン防水材

ウレタン防水

使用材料： タケシール 1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
荷姿 18kg缶・10kg缶
施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

●下地に目地、クラックなどがある場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り
C4-NA工法	下地処理 及び補修	タケシール No.400プライマー	タケシール 1液NEOプラス 補強クロス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.8kg/m ²	1.6kg/m ²	1.5kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		4時間以上 12時間以内	24時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールNo.400プライマー

タケシール1液NEOプラス

タケシールSSトップ

無希釈

タケシールECOシンナー (或いはタケシール
No.100シンナー) にて3%以内 (重量%)

無希釈

塗布可能面積

タケシールNo.400プライマー	1.5kg缶	15m ²
	3.5kg缶	35m ²
	7kg缶	70m ²
	15kg缶	150m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	25m ²
	18kg缶	46m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	45m ²
タケシールSSトップ	3.3kgセット	22m ²
	11kgセット	73.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★水性防水材下地の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
- ・油脂成分の付着がある場合は、洗剤を使用し洗浄して取り除きます。
- ・洗浄は十分に行い、汚れを十分に除去します。
- ・植物が生息している場合は、根部分まで十分に取り除きください。
- ・既存下地にクラックがある場合は、サンダーにてUカット後、ウレタンコーキング材を充填し平滑に仕上げてください。
- ・既存下地に膨れ、めくれ、割れ等がある場合は、破損浮き箇所をカット除去した上で、内部の乾燥養生を十分に行い適切な方法にて事前に補修を行います。
また、既存下地内部に水分が残留している可能性がある場合は、破損箇所上部に脱気装置を取り付ける場合があります。

◆既存防水材の確認方法 水性防水材の場合

- ①目視確認
- ②指触確認
- ③溶解確認

重ね目が無くシームレスな形状。

厚みと弾力性があります。

ラッカーシンナーを使用して溶解の有無を確認します。
水性防水材の場合は溶解します。（溶解した際の状況は、完全に溶解する場合と、直ぐには溶け出さず少し時間が経過してから脆くなる場合や、きつくベタツキが発生する場合とがあります。）

簡易防水

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料)
 色 グレイ・グリーン
 荷姿 20kg缶・5kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・ルーフバルコニー・屋上など

防滑仕上げ・軽歩行可

●簡易防水施工例。

工法名		下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ 層間プライマーA	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²
塗装間隔		1～2時間以上	2～3時間以上	3時間以上

希釈について

タケシールAQ層間プライマーA
 タケトップ

無希釈
 水道水にて2%（重量比）以内

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマーA	1kg缶	10m ²
	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。既存下地の状況と施工後の利用目的等により施工法が変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・他、商品について詳しくはカタログ又はSDSを参照してください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上・ルーフバルコニーなど

オール1液防水工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-10工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ 層間プライマーA	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.1~0.12kg/m ²
塗装間隔		1~2時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
 塗布量 0.12~0.15kg/m²
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQ層間プライマーA 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマーA	1kg缶	10m ²
	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	2.5m ²
	16kg缶	10m ²
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8m ²
	3kg缶	25~30m ²
	8kg缶	66~80m ²
	16kg缶	133~160m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に破損、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-20工法	下地処理 及び補修	タケシールAQ 層間プライマーA	タケシールAQ防水 TypeS 補強クロス	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
塗布量		0.1kg/㎡	0.8kg/㎡	0.8kg/㎡	0.8kg/㎡	0.1~0.12kg/㎡
塗装間隔		2時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
 塗布量 0.12~0.15kg/㎡
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQ層間プライマーA 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマーA	1kg缶	10㎡
	4kg缶	40㎡
	15kg缶	150㎡
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	1.6㎡
	16kg缶	6.6㎡
補強クロス 1m幅	50m巻	45㎡
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8㎡
	3kg缶	25~30㎡
	8kg缶	66~80㎡
	16kg缶	133~160㎡

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合の施工法となります。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cm重ねます。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)

荷姿 30kgセット・15kgセット

施工部位： ベランダ・庇・パラペット・小規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	下地処理 及び補修	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り
CR-1T工法		タケシールPceco プライマー	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.9kg/m ²	0.85kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
塗装間隔		3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ 軽歩行可
- 塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)
- 塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上
2回目塗布後 4時間以上

配合について

	タケシールP C e c o主剤	タケシールP C e c o混和材	水
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールP C e c oプライマー	4kg缶	4.0m ²
	15kg缶	15.0m ²
タケシールP C e c o	15kgセット	9.1m ²
	30kgセット	18.2m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：水性防水材

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールPcecoco (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)

荷姿 30kgセット・15kgセット

施工部位： ベランダ・庇・バラベット・解放廊下・中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックがある場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り	
CR-3T	下地処理 及び補修	タケシールPcecoco プライマー	タケシールPcecoco 補強クロス	タケシールPcecoco	タケシールPcecoco	タケトップ	タケトップ	
		塗布量	0.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.05kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
		塗装間隔	3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ 軽歩行可
- 塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)
- 塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上
2回目塗布後 4時間以上

配合について

	タケシールPcecoco主剤	タケシールPcecoco混和材	水
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールPcecocoプライマー	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケシールPcecoco	15kgセット	4.9m ²
	30kgセット	9.8m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	45m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記施工法は、目地、クラック等がある場合の施工法となります。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cmとなります。
- ・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ウレタン防水

使用材料： タケシール 1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名		下塗り1	下塗り2	下塗り2	中塗り	中塗り	上塗り
かぶせ工法	下地 処理 及び 補修	タケシール AQ層間プライマー-A	タケトップ	タケトップ	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		2~3時間以上	3時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について	タケシールAQ層間プライマー-A	無希釈
	タケトップ	水道水にて2%以内(重量%)
	タケシール1液NEOプラス	タケシールECOシンナー(或いはタケシールNo.100シンナー)にて3%以内(重量%)
	タケシールSSトップ	無希釈

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマー-A	1kg缶	10m ²
	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kg缶	2.2m ²
	11kg缶	7.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：水性防水材

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

●下地に目地、クラックなどがある場合の施工例

工法名		下塗り1	下塗り2	下塗り2	中塗り	中塗り	上塗り
かぶせ工法 補強クロス有	下地 処理 及び 補修	タケシール AQ層間プライマー-A	タケトップ 補強クロス	タケトップ	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
塗布量		0.1kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		2～3時間以上	3時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²
 塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について	タケシールAQ層間プライマー-A タケトップ タケシール1液NEOプラス タケシールSSトップ	無希釈 水道水にて2%以内(重量%) タケシールECOシンナー(或いはタケシールNo.100シンナー)にて3%以内(重量%) 無希釈
--------	--	---

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマー-A	1kg缶	10m ²
	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケトップ	5kg缶	2.5m ²
	20kg缶	10m ²
補強クロス 1m幅	50m巻	45m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kgセット	2.2m ²
	11kgセット	7.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★FRP防水の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
- ・洗浄は十分に行い、汚れを十分に除去します。
- ・浮き塗膜がある場合は研磨除去してください。
- ・既存下地に凹凸がある場合は、サンダー等を使用して平滑となるように研磨してください。
- ・表面に残るワックス成分は、60～80番のペーパーを使用して研磨除去してください。
- ・サンダー等を使用する場合は、表面をなでるように表面が白くなるまで研磨してください。
- ・不十分な場合は、上に塗る塗料の密着が悪くなります。
- ・表面研磨後は、アセトンにて表面を脱脂とふき取りを行ってください。



- ・既存下地に割れがある場合は、浮いている箇所を全て研磨除去、防水層下の下地に破損、割れ等があれば下地部から適切な方法にて補修を行います。 防水層下の下地面からの補修を行う場合は、既存防水層と同じFRP樹脂での補修となります。

◆既存防水材の確認方法

FRP防水材の場合

- | | |
|-------|---|
| ①目視確認 | 重ね目が無くシームレスな形状。
膜厚が薄くなる立上り部では、ガラス繊維の形状が見えている場合があります。 |
| ②指触確認 | エポキシ床材同等の硬質な防水層です。 |
| ③溶解確認 | ラッカーシンナーを使用して溶解の有無を確認します。
FRP防水材の場合は溶解しません。 |

※下地の事前調査を行う前には、今までの改修履歴の確認を行ってください。

前回の施工が不十分で密着が悪い場合や、FRP樹脂トップコート以外の塗料が塗布されている場合があります。

下地：FRP防水材

簡易防水 + 保護化粧

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料) 防滑仕上げ・軽歩行可
色 グレイ・グリーン
荷姿 20kg缶・5kg缶
施工部位： ベランダ・庇・ルーフバルコニー・屋上など

●簡易防水施工例

工法名	下地処理	下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法	清掃後、60~80番のペーパーにて表面研磨、ワックス成分の除去。	タケシールAE211プライマー	タケトップ	タケトップ
塗布量	アセトンにて拭き	0.1kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²
塗装間隔	取り・脱脂	3~5時間以上 4日以内	2~3時間以上	3時間以上

希釈について

タケシールAE211プライマー

無希釈

タケトップ

水道水にて2%以内(重量%)

塗布可能面積

タケシールAE211プライマー	2kgセット	20m ²
	8kgセット	80m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・既存FRP防水層に破損、クラック等が無い場合の施工例となります。FRP防水材による補修が必要な状況下地の場合、上記施工例は適用できません。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。既存下地の状況と施工後の利用目的等により施工法が変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・他、商品について詳しくはカタログ又はSDSを参照してください。

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 16kg缶・4kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上・ルーフバルコニーなど

オール1液防水工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	下地処理	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-10工法	清掃後、60~80番のペーパーにて表面研磨、ワックス成分の除去。	タケシールAE211プライマー	タケシールAQ防水TypeS	タケシールAQ防水TypeS	タケシールAQトップ
塗布量	アセトンにて拭き取り・脱脂	0.1kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.1~0.12kg/m ²
塗装間隔		3~5時間以上 4日以内	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
 塗布量 0.12~0.15kg/m²
 塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAE211プライマー 無希釈
 タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)
 タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールAE211プライマー	2kgセット	20m ²
	8kgセット	80m ²
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	2.5m ²
	16kg缶	10m ²
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8m ²
	3kg缶	25~30m ²
	8kg缶	66~80m ²
	16kg缶	133~160m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・既存FRP防水層に破損、クラック等が無い場合の施工例となります。FRP防水材による補修が必要な状況下地の場合、上記施工例は適用できません。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。既存下地の状況と施工後の利用目的等により施工法が変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：FRP防水材

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)
 荷姿 30kgセット・15kgセット
 施工部位： ベランダ・庇・パラペット・小規模屋上・ルーフバルコニーなど

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	下地処理	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り
CR-1T工法	清掃後、60~80番のペーパーにて表面研磨、ワックス成分の除去。	タケシールAE211プライマー	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ
塗布量	アセトンにて拭き取り・脱脂	0.1kg/m ²	0.9kg/m ²	0.85kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
塗装間隔		3~5時間以上 4日以内	3~6時間以上	3~6時間以上	2~3時間以上	3時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ 軽歩行可
 塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)
 塗装間隔 1回目塗布後 2~3時間以上
 2回目塗布後 4時間以上

希釈について タケシールAE211プライマー 無希釈
 配合について

	タケシールAE211プライマー A液	タケシールAE211プライマー B液	
下塗り材	1 (重量比)	1 (重量比)	
	タケシールP C e c o 主剤	タケシールP C e c o 混和材	水
防水材	9kg	6kg	0~1kg

塗布可能面積

タケシールAE211プライマー	2kgセット	2.0m ²
	8kgセット	8.0m ²
タケシールP C e c o	15kgセット	9.1m ²
	30kgセット	18.2m ²
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	2.0m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・既存FRP防水層に破損、クラック等が無い場合の施工例となります。FRP防水材による補修が必要な状況下地の場合、上記施工例は適用できません。
- ・既存下地の状況と施工後の利用目的等により施工法が変わります。
- ・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

●下地に目地、クラックなどが無い場合の施工例

工法名	清掃後、60~80番のペーパーにて表面研磨、ワックス成分の除去。	下塗り	中塗り	中塗り	上塗り
C1-NA工法	アセトンにて拭き取り・脱脂	タケシールNo.400プライマー	タケシール1液NEOプラス	タケシール1液NEOプラス	タケシールSSトップ
塗布量		0.1kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		4時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²
 塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について	タケシールNo.400プライマー	無希釈
	タケシール1液NEOプラス	タケシールECOシンナー (或いはタケシールNo.100シンナー) にて3%以内 (重量%)
	タケシールSSトップ	無希釈

塗布可能面積

タケシールNo.400プライマー	1.5kg缶	15m ²
	3.5kg缶	35m ²
	7kg缶	70m ²
	15kg缶	150m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kgセット	22m ²
	11kgセット	73.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★加硫ゴムシート防水の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
- ・油脂成分の付着がある場合は、洗剤を使用して取り除きます。
- ・洗浄は十分に行い、汚れを十分に除去します。
特に既存塗膜がシルバー色の場合は、リン片状に重なる銀粉を洗浄研磨で十分に除去してください。不十分な場合、塗料の密着が悪くなります。
- ・植物が生息している場合は、根部分まで十分に取り除きください。
- ・コーキング補修を行う場合は、ブチルゴム系のコーキング材を使用してください。
- ・既存下地に軽度な膨れ、めくれ、割れ等がある場合は、破損浮き箇所をカット除去した上で、内部の乾燥養生を十分に行い、同素材による増し張り補修を行います。
また、既存下地内部に水分が残留している可能性がある場合は、破損箇所上部に脱気装置を取り付ける場合があります。

補修方法（増し張り補修）

1. 破損箇所回りの既存塗膜をペーパー、又はシンナーを使用して除去します。破損箇所を中心に両サイド10cmほどの塗膜のみを除去します。
2. 下地と補修用ゴムシート面にG接着剤を塗布し、適度なオープンタイムを置いた後、空気が入り込まないように貼り付けます。

塗布量	下地面	250g/m ²
	補修シート面	200g/m ²
乾燥時間	夏季	15～30分
	冬季	20～45分

(少しタックが残る程度まで乾かします。)
3. 空気が入り込まないように荷重を掛けて貼り付けます。
4. 貼り付け後、保護塗料を塗布します。

◆既存防水材の確認方法

- | | |
|-------|---|
| ①目視確認 | 約1. 1mの幅で重ねがあります。
シートの重ね合わせの幅が約10cmで、中央内部には3cm幅の両面テープが挟み込まれてあります。
黒色のシートに砂入り厚膜又は、フラットな薄膜水性塗料が塗布されています。
表面にはエンボス加工が行われています。 |
| ②指触確認 | ゴム弾性があります。 |
| ③溶解確認 | 保護塗料には水系塗料が使用されているため、溶解します。
FRP防水材の場合は溶解しません。 |

- 防水シートの改修は、延命を目的とした保護化粧又は、簡易防水が基本施工となります。
詳しくは、担当までお問い合わせください。

下地：加硫ゴムシート防水材

簡易防水+保護美装

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料)

防滑仕上げ・軽歩行可

色 グレイ・グリーン

荷姿 20kg缶・5kg缶

施工部位： ルーフバルコニー・屋上など

●簡易防水施工例

工法名		下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法	下地処理 及び補修	タケシールゴム シートプライマー	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1kg/㎡	0.75kg/㎡	0.75kg/㎡
塗装間隔		1～2時間以上	2～3時間以上	3時間以上

希釈について

タケシールゴムシートプライマー

無希釈

タケトップ

水道水にて2%以内(重量%)

塗布可能面積

タケシールゴムシートプライマー	4kg缶	4.0㎡
	15kg缶	15.0㎡
タケトップ	5kg缶	3.3㎡
	20kg缶	13.3㎡

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・他、商品について詳しくはカタログ又はSDSを参照してください。

★保護化粧で着色のみの場合、上塗り材をPトップ(アクリルゴム系・非歩行・薄膜・フラットタイプ)を塗布します。

★遮熱目的の保護化粧の場合、上塗り材にタケトップ遮熱を塗布します。

下地：加硫ゴムシート防水材

水性防水

使用材料： タケシールAQ防水TypeS (水性1液アクリルゴム系塗膜防水材)
色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
荷姿 16kg缶・4kg缶
施工部位： ベランダ・中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●シート重ね部に補強クロスを貼り付けた場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り
AQ-20工法	下地処理 及び補修	タケシールゴム シートプライマー	タケシールAQ防水 TypeS Jクロス	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQ防水 TypeS	タケシールAQトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.8kg/m ²	0.1~0.12kg/m ²
塗装間隔		2時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	3~4時間以上	4時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン樹脂) 標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可
塗布量 0.12~0.15kg/m²
塗装間隔 4時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールゴムシートプライマー 無希釈
タケシールAQ防水TypeS 水道水にて3%以内(重量%)
タケシールAQトップ 無希釈

塗布可能面積

タケシールゴムシートプライマー	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケシールAQ防水TypeS	4kg缶	1.6m ²
	16kg缶	6.6m ²
Jクロス 10cm幅	50m巻	50m
タケシールAQトップ	0.8kg缶	6.6~8m ²
	3kg缶	25~30m ²
	8kg缶	66~80m ²
	16kg缶	133~160m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・Jクロスの重ね合わせは、約3cm重ねます。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

ポリマーセメント系防水

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)

荷姿 30kgセット・15kgセット

施工部位： 中規模屋上・ルーフバルコニーなど

●シート重ね部に補強クロスを貼り付けた場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	上塗り	上塗り	
CR-3T	下地処理 及び補修	タケシールゴ ムシートプライマ ー	タケシールPceco Jクロス	タケシールPceco	タケシールPceco	タケトップ	タケトップ	
		塗布量	0.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.05kg/m ²	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²
		塗装間隔	2時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	2～3時間以上	3時間以上

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ 軽歩行可
 - 塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)
 - 塗装間隔 1回目塗布後 2～3時間以上
 - 2回目塗布後 4時間以上

配合について

	タケシールP C e c o 主剤	タケシールP C e c o 混和材	水
防水材	9kg	6kg	0～1kg

塗布可能面積

タケシールゴムシートプライマー	4kg缶	4.0m ²
	15kg缶	15.0m ²
タケシールP C e c o	15kgセット	4.9m ²
	30kgセット	9.8m ²
Jクロス 10cm幅	50m巻	5.0m
タケトップ	5kg缶	5m ²
	20kg缶	20m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・Jクロスの重ね合わせは、約3cmとなります。
- ・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：加硫ゴムシート防水材

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
荷姿 18kg缶・10kg缶
施工部位： ベランダ・庇・小面積屋上など

環境対応工法

工法名		下塗り1	下塗り2	下塗り2	中塗り	中塗り	上塗り
かぶせ工法	下地 処理 及び 補修	タケシール ゴムシートプライマー	タケトップ	タケトップ	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
塗布量		0.1kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		2時間以上	3時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールゴムシートプライマー
タケトップ
タケシール1液NEOプラス
タケシールSSトップ

無希釈
水道水にて0～2%以内(重量%)
タケシールECOシンナー(或いはタケシール
No.100シンナー)にて3%以内(重量%)
無希釈

塗布可能面積

タケシールゴムシートプライマー	4kg缶	40m ²
	15kg缶	150m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kg缶	2.2m ²
	11kg缶	7.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★塩ビシート防水の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
- ・油脂成分の付着がある場合は、洗剤を使用して取り除きます。
- ・洗浄は十分に行い、汚れを十分に除去します。不十分な場合、塗料の密着が悪くなります。
- ・植物が生息している場合は、根部分まで十分に取り除きください。
- ・シート表面に光沢があり、凹凸の無いフラットなシートの場合は、ペーパーにて目粗しを行ってください。
- ・劣化によりシートが固くなっている場合は、ペーパーにて目粗しを行ってください。

◆既存防水材の確認方法

- | | |
|-------|--|
| ①目視確認 | 約1mの幅で重ねがあります。
シートの重ね合わせの幅が約4～5cmで、端末は専用のシール材が充填されています。
シート自体に着色が施されています。
出隅、入隅にはパッチ増し張りが行われています。 |
| ②指触確認 | 弾性があります。 |
| ③溶解確認 | 改修履歴があり、保護塗料が塗布されている場合があります。
シンナーを使用して溶解試験を行い、溶剤型か水性かを確認します。 |

●防水シートの改修は、延命を目的とした保護化粧が基本施工となります。

詳しくは、担当までお問い合わせください。

- 塩ビシート防水の改修では、専用の下塗り材を使用します。専用の下塗り材は、水性ではなく溶剤型となります。取り扱いにはご注意ください。

簡易防水+保護美装

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料)

防滑仕上げ・軽歩行可

色 グレイ・グリーン

荷姿 20kg缶・5kg缶

施工部位： ルーフバルコニー・屋上など

●簡易防水施工例

工法名		下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法	下地処理 及び補修	タケシール塩ビシート用プライマー	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1~0.12kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²
塗装間隔		3~5時間以上	2~3時間以上	3時間以上

希釈について

タケシール塩ビシートプライマー

無希釈

タケトップ

水道水にて2%以内(重量%)

塗布可能面積

タケシール塩ビシート用プライマー	3.5kg缶	29~35m ²
	15kg缶	125~150m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・他、商品について詳しくはカタログ又はSDSを参照してください。

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ

軽歩行可

塗布量 1.0kg/m² (0.5kg/m²を2回塗布)

塗装間隔 1回目塗布後 2~3時間以上

2回目塗布後 4時間以上

◆タケシールSSトップ (水性2液型アクリルウレタン系樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.12~0.15kg/m²

塗装間隔 12時間以上

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス （1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材）
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・屋上・ルーフバルコニーなど

●シート重ね部に補強クロスを貼り付けた場合の施工例

工法名		下塗り	中塗り	中塗り	上塗り	
C1-NA工法	下地 処理 及び 補修	タケシール 塩ビシート用プライマー	タケシール 1液NEOプラス Jクロス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ	
		塗布量	0.1~0.12kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
		塗装間隔	3~5時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ （溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂）

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について	タケシール塩ビシート用プライマー タケシール1液NEOプラス タケシールSSトップ	無希釈 タケシールECOシンナー（或いはタケシール No.100シンナー）にて3%以内（重量%） 無希釈
--------	---	---

塗布可能面積

タケシール塩ビシート用プライマー	3.5kg缶	2.9~3.5m ²
	15kg缶	12.5~15.0m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg缶	5m ²
	18kg缶	9m ²
Jクロス 10cm幅	50m巻	5.0m
タケシールSSトップ	3.3kgセット	2.2m ²
	11kgセット	7.3~3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

下地：アスファルトシート防水材

★アスファルトシート防水の場合



◆下地処理及び補修方法について

- ・ゴミ、汚れ、土、埃は十分に取り除きます。
- ・油脂成分の付着がある場合は、洗剤を使用して取り除きます。
- ・洗浄は十分に行い、汚れを十分に除去します。不十分な場合、塗料の密着が悪くなります。
- ・植物が生息している場合は、根部分まで十分に取り除きください。
- ・シルバー色仕上げの場合は、塗膜表面に付着する銀粉を十分に除去してください。

◆既存防水材の確認方法

①目視確認

約1mの幅で重ねがあります。

シートの重ね合わせの幅が約10cmで、端末は専用のシール材や、シート内部よりはみ出たアスファルト成分が見られます。シート自体に細かい着色された石粒が施されています。

②指触確認

弾性があります。（夏季と冬季では固さに違いがあります）

③溶解確認

保護塗料が塗布されている場合は、略水性の保護塗料が塗布されています。

●防水シートの改修は、延命を目的とした保護化粧が基本施工となります。

詳しくは、担当までお問い合わせください。

簡易防水+保護美装

使用材料： タケトップ (水系骨材入り厚膜塗料)
 色 グレイ・グリーン
 荷姿 20kg缶・5kg缶
 施工部位： ルーフバルコニー・屋上など

防滑仕上げ・軽歩行可

●簡易防水施工例

工法名		下塗り	中塗り	上塗り
T-15工法	下地処理 及び補修	タケシルAQ層間 プライマーA	タケトップ	タケトップ
塗布量		0.1~0.15kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²
塗装間隔		1~2時間以上	2~3時間以上	3時間以上

希釈について

タケシルAQ層間プライマーA
 タケトップ

無希釈
 水道水にて2%以内(重量%)

塗布可能面積

タケシルAQ層間プライマーA	1kg缶	6.6~10m ²
	4kg缶	26~40m ²
	15kg缶	100~150m ²
タケトップ	5kg缶	3.3m ²
	20kg缶	13.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。劣化が激しい場合塗布量が大きく変わります。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・上記記載工法は簡易防水工法となります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・他、商品について詳しくはカタログ又はSDSを参照してください。

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

- ◆タケトップ遮熱 (水性1液型アクリル樹脂) 標準色：グレイ
- 塗布量 1.2kg/m²以上 (0.6kg/m²以上を2回塗布)
- 塗装間隔 1回目塗布後 2~3時間以上
 2回目塗布後 4時間以上

軽歩行可

ウレタン防水

使用材料： タケシール1液NEOプラス (1液湿気硬化型ウレタン塗膜防水材)
 色 グレイ 平滑仕上げ・軽歩行可
 荷姿 18kg缶・10kg缶
 施工部位： ベランダ・屋上など

環境対応工法

工法名		下塗り1	下塗り2	下塗り2	中塗り	中塗り	上塗り
かぶせ工法 補強クロス有	下地 処理 及び 補修	タケシール AQ層間プライマーA	タケトップ 補強クロス	タケトップ	タケシール 1液NEOプラス	タケシール 1液NEOプラス	タケシール SSトップ
	塗布量	0.1~0.15kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	1.0kg/m ²	0.15kg/m ²
塗装間隔		1~2時間以上	2~3時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	4時間以上養生

○上塗り材につきましては以下の製品を塗布することができます。

◆タケシール#3500トップ (溶剤系2液型アクリルウレタン樹脂)

標準色：グレイ・グリーン 軽歩行可

塗布量 0.2kg/m²

塗装間隔 7時間以上で軽歩行可能。

希釈について タケシールAQ層間プライマーA

タケトップ

タケシール1液NEOプラス

タケシールSSトップ

無希釈

水道水にて2%以内(重量%)

タケシールECOシンナー(或いはタケシール
No.100シンナー)にて3%以内(重量%)

無希釈

塗布可能面積

タケシールAQ層間プライマーA	1kg	6.6~10m ²
	4kg	26~40m ²
	15kg	100~150m ²
タケトップ	5kg	2.5m ²
	20kg	10m ²
タケシール1液NEOプラス	10kg	5m ²
	18kg	9m ²
タケシールSSトップ	3.3kgセット	2.2m ²
	11kgセット	7.3m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・既存下地に目地、クラック等がある場合は、施工法変わります。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・各商品につきまして詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★浴室・トイレ・厨房床の防水

ポリマーセメント系防水

下地：モルタル・コンクリート

使用材料： タケシールP C e c o (水性ポリマーセメント系塗膜防水材)

荷姿 30kgセット・15kgセット

施工部位： 厨房・浴室・トイレなど

工法名	下地処理	下塗り	中塗り	中塗り	中塗り	仕上げ
CR-3T	下地処理 及び補修	タケシールPceco 共プライマー	タケシールPceco 補強クロス	タケシールPceco	タケシールPceco	押えモルタル 層は、別途 工事
塗布量		0.2kg/m ²	1.1kg/m ²	1.1kg/m ²	1.05kg/m ²	
塗装間隔		3時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	3～6時間以上	

配合について

	タケシールP C e c o 主剤	タケシールP C e c o 混和材	水
共プライマー	9kg	6kg	8kg
防水材	9kg	6kg	1kg

塗布可能面積

タケシールP C e c o	15kgセット	4.7m ²
	30kgセット	9.4m ²

備考

- ・上記記載塗装間隔につきましては、施工条件にて変化します。
- ・上記記載塗布量は下地の状況にて変化します。
- ・下地処理及び補修につきましては、下地の状況に応じて行ってください。
- ・配管等、役回りへの補強クロスの貼り付けは、必ず行ってください。
- ・補強クロスの重ね合わせは、約5cmとなります。
- ・最終仕上げの押さえモルタルは、別途工事となります。
- ・押さえモルタルの厚みにつきましては、5cm以上の厚みでお願いします。
- ・室内での施工の場合は、送風機等を使用して室内の空気を循環させてください。
- ・室内での作業や風通しが悪い箇所での作業の場合には強制換気装置等を使用してください。
- ・下塗り・中塗り材の攪拌は、塊ができないよう十分に攪拌してください。
- ・必要に応じた保護具を着用してください。
- ・防水材仕上げ後、水張り試験を行う場合は、乾燥養生を7日以上行った上で行ってください。
- ・各商品につきましては詳しくはカタログ及びSDSをご参照ください。

★その他の下地の場合

●防塵塗料・床塗料・モルタル・コンクリート用着色材（硬質）の場合

見分け方	目視確認：	膜厚の確認します。
	指触確認：	塗膜の硬さを確認します。防塵塗料や床塗料は、塗膜が固く弾力性がありません。
	溶解確認：	溶解の有無により、水系か溶剤系かを確認します。

下地処理 ・硬質の塗膜の場合には、必ずペーパー等で目粗しを行ってください。

適用下塗り材について

タケシールA E 2 1 1 プライマー	(水性2液型エポキシ樹脂)
標準塗布量	0.1kg/m ² (1回塗り)
塗装間隔	4時間以上、4日以内

適用下塗り材を塗布後、タケシール水性防水材を塗布してください。